

コロナウイルス関連 公開情報取りまとめ  
～2020年3月24日（火）17時現在～

在サンパウロ日本国総領事館

※ 過去配信の領事メールの内容と一部重複します。主に州・市政府の発表を取りまとめています。

1 サンパウロ州

3月24日（火）発表

- 25日（水）午前、伯南東部の州知事は、ボルソナーロ大統領及び関係閣僚（マンデッタ保健大臣、ゲデス経済大臣等）とコロナウイルス対策につき協議するため、ビデオ会議を開催する。
- コザングループとサンタンデル銀行は、コロナウイルスが収束するまで、社員を解雇しない旨発表したが、他企業もこれに見倣い、社員の雇用の維持に努めてほしい。
- 本24（火）より、サンパウロ州の刑務所で、計32万枚のマスクを製作する。1日2万6千枚を精算予定。また、同日より、[電子警察署 \(delegacia eletrônica\)](#) を運用開始。これまで警察署に出向く必要があった事案の一部について、今後はオンラインで被害届が提出可能となった。但し、殺人やDV等の犯罪は不可。警察署は通常通り運営されているが、コロナウイルス対策として、人の集中を避けるため、当サイトの活用を推奨。
- サンパウロ市保健局は23日（月）より、（急を要さない）一般診察、検査、手術等を部分的に延期。
- ロドリゴ・ガルシア副州知事、A n e e l（電力庁）に対し、低所得者の電気代支払いの猶予を要請。
- サンパウロ州北部カラグアタトゥーバ市の北東地域病院（Hospital Regional do Litoral Norte）が予定よりも早い3月30日（月）に開院予定。同地域におけるコロナウイルスの対応のため。
- 州政府、献血を呼びかけ。O+、O-、A-、B-が不足中。
- 24日午後5時現在、州内の累計感染者数は810人、死者40人。

（了）